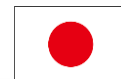




桜だより



2022年5月17日発行

屋根より高い鯉のぼり♪

5月5日といえば、「こどもの日」です。日学でも鯉のぼりと兜を飾りました。あいにくこの日は風がなかったため、歌にあるように、おもしろそうに泳いではくれませんでした。みんなで記念撮影をして日本文化に少しだけ触れました。

ご承知の通り、もともとの日は「端午の節句」で、男の子の健やかな成長や幸せを祈ってお祝いをする日でした。しかし、1948年に5月5日を「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」お休みの日と決められてから、端午の節句の日が、こどもの日になりました。そのため本来は男の子のための日でしたが、今では子どもたちみんなをお祝いするようになりました。あまり知られていないようですが、子どものお祝いだけではなく「お母さんに感謝する」という意味もあります。母の日と重なる部分もありますが、お母さんへの感謝も忘れないようにしたいと思います。



授業参観・進路説明会・懇談会

5日は、授業参観も行いました。今年度初の参観日でしたが、子どもたちの学校での様子を保護者の皆様にご覧いただき感謝申し上げます。また、パンデミック以来初となる対面での進路説明会も好評でした。受験の情報は勿論のこと、帰国後の進路についても概要をお話させていただきました。今後は個別での相談を行いますので、よろしくお願ひします。

また、懇談会も対面で行いました。実際にお顔を見ながらの懇談は、オンラインとは違い、表情や雰囲気がよくわかります。今年度はいろいろなことを元に戻す一年としたいと思っていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

2回目の避難訓練（銃声 - 体育館）

今年度は、月に1回の避難訓練を計画しています。2回目の実施となった4日は、体育館にいる時に銃声が聞こえた場合の避難方法について確認しました。緊急時の状況は常に違います。子どもたち一人ひとりが周りの状況を的確につかみ、正しい避難行動ができることを目標に、繰り返し訓練を行っていきます。



日本語 モデル校交流



14日(土)に、日本語モデル校との交流会を持ちました。日本語モデル校というのは、日系協会が設置している日本語を学ぶための学校です。モデル校は日学が借りている教室で毎週土曜日に授業を行っていましたが、現在はコロナ禍の今はオンラインで授業を行っています。そのモデル校の生徒のみなさんと接することにより、自分のことを相手に伝え、相手を理解しようと努めるコミュニケーション力を育てることを目標に交流会がもたれています。コロナ禍前までは対面で交流をしてきましたが、モデル校がまだオンラインで行っていることもあり、今年度も昨年度に引き続きオンライン交流となりました。

交流会は全体活動の後、5つのグループに分かれて活動を行いました。グループ活動では、自己紹介、漢字間違い探し、フリートーク、わたしは誰ですか?ゲームなど、楽しく交流をしました。交流を通して、多様な考え方や価値観、相手を尊重する態度が育つことを願っています。また、ブラジルについての学習や語学学習の動機付けとなることを期待しています。

Q3
日本で生まれた有名な食べ物は?
Que comida famosa nasceu no Japão?

1 すし 2 ギョウザ 3 ラーメン



日学、モデル校それぞれからクイズを出題

